

令和4年度
事業報告書

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

公益社団法人 日本水道協会

〈 目 次 〉

令和4年度事業報告書

I	会員の異動及び現在数	1
II	事業報告	2
1.	水道の安全で安定した供給の継続を図るための事業(公益目的事業)	2
1)	水道用資機材の品質検査等(検査事業)	2
2)	給水装置等の品質認証(認証事業)	2
3)	水道水質検査優良試験所規範(水道G L P)の認定(審査登録事業)	3
4)	水道施設管理技士資格の認定(審査登録事業)	4
5)	専門書籍・協会雑誌・広報資料等の出版(出版事業)	4
6)	水道関係研修会(研修事業)	5
7)	国等が進める調査研究や国際貢献等の受託(受託事業)	6
8)	水道に関する調査研究(調査研究事業)	6
2.	所有不動産の賃貸(収益事業)	8
3.	水道賠償責任保険(その他事業)	8
4.	功績者表彰(その他事業)	8
5.	管理部門	8

令和4年度事業報告書

I 会員の異動及び現在数

会 員 別	令和4年3月31日	入会	退会	令和5年3月31日	増△減
名誉会員	7名	0名	0名	7名	0名
正会員	1,332 団体	4 団体	0 団体	1,336 団体	4 団体
特別会員	336名	19名	8名	347名	11名
賛助会員	570社	9社	3社	576社	6社
計	2,245	32	11	2,266	21

Ⅱ 事業報告

1. 水道の安全で安定した供給の継続を図るための事業(公益目的事業)

1) 水道用資機材の品質検査等(検査事業)

検査事業委員会を2回、検査施行要項等専門委員会を1回開催した。
主な検査用品の検査数量は、次のとおりである。

品 種	単 位	検 査 数 量	対 前 年 度 比
鑄 鉄 直 管	トン	172,202	93%
鑄 鉄 異 形 管	〃	39,390	94%
塗 覆 装 鋼 管 直 管	〃	4,755	58%
塗 覆 装 鋼 管 異 形 管	〃	6,152	93%
亜 鉛 め っ き 鋼 管	〃	2,431	71%
硬 質 塩 化 ビ ニ ル ラ イ ニ ン グ 鋼 管	〃	3,606	90%
ポ リ エ チ レ ン 粉 体 ラ イ ニ ン グ 鋼 管	〃	907	48%
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	〃	3,121	97%
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 継 手	個	25,699	74%
ポ リ エ チ レ ン 管	トン	13,221	98%
弁 栓 類	個	318,876	100%
止 水 ・ 分 水 栓 類	〃	675,721	102%
ゴ ム 類	〃	5,484,602	104%
ボ ル ト ・ ナ ッ ト	本	11,514,003	94%

また、本協会では、検査事業の一環として産業標準化法に基づくJIS製品認証を行う登録認証機関として、平成17年11月に経済産業大臣の登録を受け業務を行っている。

令和4年度は、既に本協会から認証を取得している工場等に対する維持審査業務を中心として、53社の審査を行った。

なお、令和5年3月31日現在の認証取得者数は81社である。

2) 給水装置等の品質認証(認証事業)

認証制度運営委員会を2回、認証審査委員会を5回開催した。

認証登録品の登録件数及び品質確認を行った製品の数量は、次のとおりである。

令和4年度認証登録品登録件数

(単位：件)

	契約者数	登録件数	品質確認方法別の内訳		審査基準別の内訳	
			自社検査方式	抜取検査方式	基本基準	特別基準
令和4年度末	306	1,416	758	658	1,278	138
給水用具等	255	1,344	686	658	1,278	66
資機材	16	24	24	0	0	24
薬品	35	48	48	0	0	48

令和4年度品質確認数量

(単位：千個)

区分	自社検査方式	抜取検査方式	合計	(参考) 令和3年度実績
給水管	1,131	23	1,154	1,434
湯沸器類	339	1	340	339
家電機器類	2,796	30	2,826	2,424
水栓類	1,506	125	1,631	1,552
ボールタップ類	460	15	475	393
メーターユニット類	338	17	355	342
バルブ類	5,598	335	5,933	5,647
逆流防止装置	219	15	234	221
継手類	29,244	1,758	31,002	34,952
洗浄弁	218	0	218	252
水撃防止器	2	15	17	12
水栓柱	354	3	357	411
浄水器	499	7	506	336
ユニット器具類	1,723	2	1,725	1,544
その他	582	62	644	461
合計	45,009	2,408	47,417	50,320

3) 水道水質検査優良試験所規範(水道G L P)の認定(審査登録事業)

水道G L P認定委員会を12回開催した。

令和4年度の審査状況は、次のとおりである。

- ① 新規認定審査 2機関
- ② 更新審査 43機関
- ③ サーベイランス審査 30機関

認定検査機関の合計 148箇所

※認定を行った水質検査機関については、水道協会雑誌及び本協会ホームページにおいて公表している。

4) 水道施設管理技士資格の認定(審査登録事業)

(1) 3級認定・登録結果

浄水施設管理技士 560名
 管路施設管理技士 232名
 浄水・管路両資格登録者 18名

(2) 1級・2級認定・登録結果

① 1級・2級資格試験実施概要

実施時期 令和5年1月15日

実施場所 全国6会場

② 1級・2級資格試験等

	受験者	合格者 (登録者)	特例申請者 (登録者)
1級浄水施設管理技士	114名	29名	8名
2級浄水施設管理技士	382名	157名	1名
1級管路施設管理技士	16名	3名	4名
2級管路施設管理技士	167名	60名	1名
計	679名	249名	14名

5) 専門書籍・協会雑誌・広報資料等の出版(出版事業)

会誌編集委員会を10回、抄録委員会を10回開催した。

令和4年度の主な出版物は、次のとおりである。

図書名	部数	図書名	部数
水道協会雑誌	月刊 5,100	水道統計(令和2年度版)	1,600
水道料金表	1,700	水道研究発表会講演集	3,000
水道施設耐震工法指針・解説 (2022年版)	3,000		

6) 水道関係研修会(研修事業)

(1) 水道に関する技術部門、経営部門の研修会を次のとおり開催した。

研修会名	回数	参加人員	時期	期間	会場
新任水道事業管理者研修会	1回	44名	8月	3日	市ヶ谷
水道事業管理職事務研修会	2回	41名	7～8月	1回 2日	川口、大阪
水道事業事務研修会	2回	105名	6月	1回 4日以内	川口
未納料金対策実務研修会	4回	122名	7月,9月	1回 2日	川口、大阪
消費税実務講座	1回	45名	7月	2日	川口
消費基礎務講座	1回	48名	6月	—	オンデマンド配信
水道基礎講座	4回	254名	5～7月	1回 3日	川口、大阪
〃 (オンライン研修)	1回	246名	7月	—	オンデマンド配信
水道技術管理者研修会	2回	117名	7月,10月	1回 2日	川口
水道技術管理者資格取得講習会	4回	294名	9～12月	1回 15日	市ヶ谷、川口、 大阪、福岡市
水道技術者研修会	2回	140名	11～12月	1回	川口
〃 (オンライン研修)	1回	27名	12月	8日以内	オンデマンド配信
水道技術者専門別研修会	3部門	224名	1月～2月	1部門 5日以内	川口
水道技術者ブロック別研修会	7回	357名	5～7月	1回 2日	全国7会場
漏水防止講座	5回	187名	7～10月	1回 3日	東京都、大阪市
浄水場等設備技術実務研修会	13回	149名	6～2月	1回 4日	東京都、大阪市
配管設計講習会	9回	413名	7～10月 12～2月	1回 3日	全国7会場
配水管工技能講習会(小口径管)	92回	1,526名	4～3月	1回 3日	全国14会場
配水管工技能講習会(大口径管)	41回	702名	4～3月	1回 2日	東京都、名古屋市
配水管技能者登録更新講習会 (小口径管)	2回	10名	10月,12月	1回 1日	川口、福岡市
配水管技能者登録更新講習会 (大口径管)	12回	342名	5,7,9～ 11,1～3月	1回 1日	東京都
水道施設耐震技術研修会	2回	157名	12月,2月	1回 3日	川口、大阪

研修会名	回数	参加人員	時期	期間	会場
水道事故防止研修会	2回	57名	11, 1月	1回 3日	川口、大阪
「水道施設耐震工法指針・解説2022年版」改訂説明会	4回	318名	8月	1回 1日	市ヶ谷、大阪

※ 市ヶ谷：日本水道会館、川口：日本水道協会川口研修所、大阪：日本水道協会大阪会館、東京都：東京都水道局研修・開発センター、名古屋市：名古屋市上下水道局人材育成推進室技術教育センター、大阪市：大阪市水道局体験型研修センター、福岡市：福岡市水道技術研修所

(2) 国際的な視野と見識を持った人材を育成することを目的として、水道事業体等の職員を対象とした国際研修を実施し、次のとおり派遣した。

研修名	回数	研修人員	派遣先
国別水道事業研修	1回	8名	台湾
IWA会議・展示会参加研修	1回	3名	コペンハーゲン

7) 国等が進める調査研究や国際貢献等の受託(受託事業)
受託した主な業務は、次のとおりである。

(1) 水道事業体等

経営調査関係 3件

(2) 独立行政法人国際協力機構

課題別研修「上水道施設技術総合」コース

8) 水道に関する調査研究(調査研究事業)

(1) 令和4年度全国会議

令和4年10月19日～21日 開催都市：名古屋市

参加者数：来賓 51名

会員等 2,783名

①第101回総会：会員提出問題の討議並びに功績者表彰を実施

②水道研究発表会：発表論文数 392編

(2) 運営会議

水道に関する重要事項や諸課題について総合的な把握を行うとともに、その効果的な課題解決に向けて審議するため、運営会議を3回開催した。

なお、会議終了後、令和5年度水道関係予算等について要望するため、また、第101回総会における会員提出問題の討議の結果、国に解決を求めるべきとされた問題への対応のため、政府並びに国会議員に対して強力な陳情を実施した。

(3)委員会	
事務常設調査委員会（専門委員会を含む）	9回
工務常設調査委員会（専門委員会を含む）	13回
衛生常設調査委員会（専門委員会、部会を含む）	22回
(4)特別調査委員会	
水道施設設計指針改訂特別調査委員会（小委員会等を含む）	19回
(5)諸会議	
水道事業管理者協議会	2回
水道技術管理者協議会	3回
中小規模水道問題協議会	2回
府県営水道連絡協議会	1回
地震等緊急時対応に係る連絡協議会	2回
地方支部協会事務担当者連絡会議	1回
支部・地区協議会協会事務担当者連絡会議	1回

(6)広報活動

第64回水道週間ポスターを作成し会員に配布するとともに、全国各地で開催された水道週間の各種行事に向けてパンフレット「みんなの水道2022」をはじめとする各種広報資料を作成した。

また、Twitterを活用し、水道界に関する情報や日々変化する水道を取り巻く状況などを迅速かつ幅広く発信した。

(7)相談業務及び講師派遣

法律・経営アドバイザー等による専門的な相談への対応のほか、電話等による事務・技術に関する相談業務を行った。

また、水道事業体のみならず、広く気軽に相談できる場としてホームページでの相談窓口や水道事業相談ダイヤルの設置運用を行った。

そのほか、地方支部あるいは都府県支部等からの要請に基づき、会員主催の講習会、研修会等の講師として延べ55名の職員を派遣した。

(8) 水道に関する様々な課題の解決に向けて、幅広い研究・開発に取り組み、水道事業体や水道関連団体等と共同して、次のとおり調査・研究を実施した。

- ① 広域化及び公民連携推進に係る調査研究
- ② 業務指標(PI)に関する調査

(9) 水道が直面する問題解決に向けた審議や、各種調査研究、並びに技術的・経営的な知識習得のための研修をより効率的に行うため、地方支部、都府県支部等において地域の実情に応じた支部活動を実施した。

2. 所有不動産の賃貸(収益事業)

本協会が所有する有形資産を活用することにより、公益目的事業のための財源の充実を図ることを目的とし、日本水道会館等の一部を賃貸した。

3. 水道賠償責任保険(その他事業)

水道に起因する事故による損害賠償等のリスクを低減し、水道経営の安定性確保に資するため、損害保険会社と団体保険契約を締結し、本協会会員が被保険者として加入できる水道賠償責任保険業務を実施した。

4. 功績者表彰(その他事業)

水道の普及に貢献のあった功労者等を、会員によって構成する功績者審査会等において審査・決定した。

(1) 日本水道協会感謝状	1名
(2) 日本水道協会会長表彰	764名・4団体
① 功労賞	16名
② 特別賞	78名
③ 有効賞	5名
④ 勤続賞	665名
⑤ 水道イノベーション賞	4団体

5. 管理部門

1) 第100回総会

令和4年6月23日 会場：砂防会館別館

出席社員数：出席社員 96会員、委任状提出社員 1,053会員 合計 1,149会員

2) 第101回総会

令和4年10月19日 会場：ポートメッセなごや

出席社員数：出席社員 194会員、委任状提出社員 730会員 合計 924会員

3) 役員会

理事会 6回(うち書面開催1回)

監事会 1回